

インターネットと人権

加害者にも 被害者にもならないために

The Internet and Human Rights

Don't become a perpetrator nor a victim

(30分)

字幕 (日本語・英語)

副音声入り

活用の手引
付き



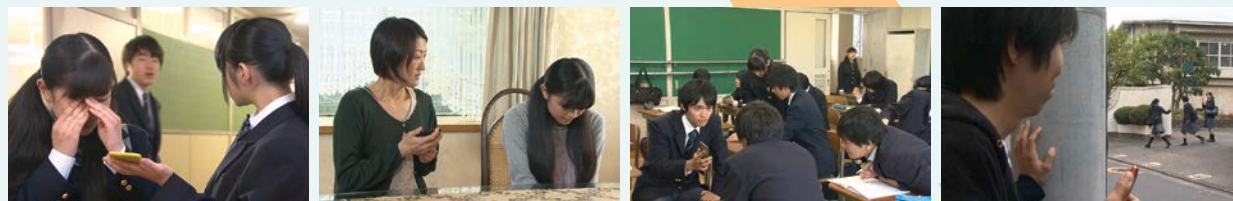
一般財団法人インターネット協会
主幹研究員 大久保 貴世

<監修・出演>



高橋 みなみ

<出演>



企画 法務省人権擁護局

公益財団法人人権教育啓発推進センター

制作 東映株式会社

インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけではなく、意図せず加害者にもなることも少なくありません。本DVDは、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめました。

インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために

The Internet and Human Rights Don't become a perpetrator nor a victim

ドラマ① 下着姿の画像を送信してしまった事例

高校一年生の麻里絵の家に、クラスメイトの美由、香奈が泊りに来る。三人は、家の玄関先や夕食の様子、部屋の中などもスマートフォンのカメラで記念撮影する。香奈にはSNSで知り合った“愛ちゃん”というネット上の同い年の友達がいる。香奈は、“愛ちゃん”の言葉巧みな要求に応じ、自画撮りした下着姿の写真を送信してしまう。しかし“愛ちゃん”は、実は女子高生を装った30歳代の男であった。その写真を口実に、香奈は男から実際に会うよう脅される。それを香奈は拒否するが、男は憤慨する。そして、香奈の下着姿の写真がネット上に公開されてしまう。

ドラマ② 無断で個人情報をインターネット上に公開してしまった事例

麻里絵は、ネット上の美由の日記にお泊りのときの写真が掲載されているのを見つける。麻里絵は無断で写真を掲載したことを抗議するが、美由は取り合おうとしない。ある日、麻里絵のスマートフォンに見知らぬ男からのメールが届く。男は、麻里絵の学校や塾をネット上の写真の情報から割り出さずきまとい、自宅の前で待ち伏せるようになる。それを知ったクラスメイト達は、原因を作った美由を無視する。しかし、麻里絵の写真やメールアドレスがネット上に掲載されたのは、クラスメイトの俊太の軽い気持ちでの書き込みが発端だった。

解説

一般財団法人インターネット協会の大久保貴世さんの解説で、インターネットを利用する上での危険性や安全な利用法、心構えについて学びます。



このビデオに関するお問い合わせ先

公益財団法人人権教育啓発推進センター

〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F
TEL.03-5777-1802(代表) FAX.03-5777-1803
ホームページ <http://www.jinken.or.jp>

このビデオの貸し出し、その他人権啓発資料等については

人権ライブラリー ※人権教育啓発推進センター併設

TEL.03-5777-1919 FAX.03-5777-1954
ホームページ <http://www.jinken-library.jp>

本DVDに収録されている映像は、動画共有サイトYouTubeの「法務省チャンネル」及び「人権チャンネル」で視聴可能です

法務省チャンネル

検索

<https://www.youtube.com/MOJchannel>

人権チャンネル

検索

<https://www.youtube.com/jinkenchannel>